

(仮称) えんがる町民センター管理運営検討シート

(第3回管理部会意見反映)

1 施設運営

検討区分	意見	決定事項	備考
①開館日、開館時間			
休館日	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の劇場では、決まった休館日はなく、フレキシブルに設定しているところが多い。</li> <li>防災面を考慮し、休館日はない方がよい。</li> <li>福祉センターに準じるのがよい。</li> <li>舞台保守日は設定しなければならない。音響や照明などの、安全管理をする必要がある。</li> <li>選挙などは徹夜の作業も想定され、札幌コンサートホールキタラでは年越しコンサートを開催しており、柔軟にしておいたほうが有益である。</li> </ul>	<p>○休館日は、年末年始(12/31~1/5)とする。</p> <p>○管理運営上必要と認めるときは、臨時に開館又は休館することができる。</p>	
開館時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>9時から22時までというホールが多い。</li> <li>9時から21時までとし、前後1時間ずつ余裕を見ているところが多い。21時に幕が下り、片付けて22時といった形。</li> <li>福祉センターと同じ考え方でよい。</li> <li>時間外の利用については、事前に申請して許可を得て、その時間内に終わらせるようにすればよい。</li> <li>時間外利用分を直近の時間帯に合わせて、加算するような形が良いと思います。また、大雪など悪天候時の荷物の搬出の際には、多少、時間の融通がきくような体制であれば喜ばれる。</li> <li>予約が何も入ってなくても、午後10時まで開館しているものか。午後10時まで開いていると思って、展示物を見ようと訪れても、午後5時に閉まっていたなどとならないように、どのようにすれば良いか。</li> <li>何も予約がないときは、札を掲示して閉館を周知している。学生の試験前などは、午後8時まで開けたり、臨機応変に対応している。</li> <li>センターそのものの時間と、中の部屋の時間を分けて考える必要があるのでは。</li> <li>準備と片付けの時間の料金の考え方として、例えば、午後8時半以降であれば料金を取らないとか、午後9時以降は午後10時までに出れば料金を取らないといったやり方も考えられる。</li> <li>開館時間については、駅のロビー替わりに利用する方もいるということも考えると、何もなくても午後8時までには開けておくことが良いかもしれない。</li> <li>何も予約がない場合は、午後9時までとし、JRの発着の時間も含めて、検討する。</li> </ul>	<p>○午前9時から午後10時までとする。ただし、イベント内容や荒天時には、午前9時以前又は午後10時以降も開館することを可能とする(別途、延長料金が発生する場合がある。)</p> <p>○町民センターの管理運営上必要と認めるときは、臨時に上記の時間を変更することができる。</p>	
受付時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>午前10時から午後5時までというホールが全国的に多い。</li> <li>管内のホールでは、開館時間と同じ午前9時から受付としているところが多い。</li> </ul>	<p>○午前9時から午後5時までとする。</p>	
②利用申請方法			
申請方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>受付の窓口は一元化してスケジュールの管理をしなければならない。早い者勝ちなのか、抽選なのか、ルールを決めなければならない。</li> <li>学校や吹奏楽など、まとめて使用することがあり、他の団体が入れなくなる。</li> <li>電話予約は必要だが、複数日の予約はどうか。</li> <li>電話予約やインターネット予約はあまりしない。</li> <li>電話で確認して、窓口で申請する。</li> <li>選挙等で突発的に使用することがあることを、条文化しておく必要がある。</li> <li>吹奏楽など定期的に決まっているものは、町民センター側で事前に調べて、利用者はそのスケジュール表を見ながら、空いている日を探して予約をする形になる。</li> <li>これまで窓口での受付が主流だったが、これからはネットでの受付も含めて、対応していかなければならない。</li> <li>実際には使わないかもしれないけれど、部屋を押さえるということがある。結局、全ては使わないとなった時に、本当に使いたい人が使えないことになるので、前納制が必要になるのではないか。</li> <li>料金については、受付で瞬時に判断することが難しいこともある。</li> <li>前納制については、例えば、6か月前なら無料、3か月前なら半額、1週間前なら全額などの設定が必要になると思います。</li> <li>このホールがオープンする頃は、インターネット予約が普通になっていると思う。</li> <li>中には名前を変えて怪しい商売をしていることもあるようなので、初めてのところはその判断のためにも、窓口に来てもらうことは、必要だと思う。</li> <li>オープン時期を考えると、インターネット申請に関するソフト開発が必要。</li> </ul>	<p>○電話又は窓口で希望日の空き状況を確認し、窓口で申請することを原則とする。</p> <p>○将来的にはインターネットを活用した受付を考慮する。</p>	

申請時間	・窓口受付時間と同様	○午前9時から午後5時までとする。	
情報提供	・ポスターの掲示など、年間のスケジュールが一目でわかるような形が良い。長いスパンでわかると良い。 ・イベント情報など、ホームページでの公表は良いが、ホームページを見ることができない方への配慮も必要。 ・パソコンを1台置いて、閲覧できるようにすれば良い。	○インターネットや館内掲示板で施設の空き状況やイベントを確認できるようにする。 ○インターネットでは、使用団体が特定されないよう配慮する。 ○館内掲示板は操作を簡易なものに。	
利用決定方法	・受付順か、同時の場合は抽選にするのか。 ・バッティングした時に、話し合ってくださいと言われても困る。 ・決められた日に抽選するのが公平である。	○先着順とする。 ※申請方法との関連を整理する。	
その他	・チラシやポスターの設置スペースを確保する。 ・ポスターなどは、管理者が審査して貼る。		
<b>③申請時期</b>			
メインホール	・一般的には、1年前が多いが、1年前なのか1年前の月頭なのか。 ・学校行事は優先される。 ・大体が1年前からということで、月頭から翌年同月分の受け付けを開始する。 ・1日が日曜日ということもあるので、やはり休館日はない方が良いということになります。 ・1年前から7日前までといった制限を設けているところもある。 ・K i t a r aでは2年前から受付が可能である。	○1年前の月初めから受付開始 ○予約期限は、7日前までとする。	
小ホール リハーサル室 会議室、研修室 和室	・全国的な学会や海外の指揮者を招いての演奏会などは、2年前から受付をしている。 ・1年前の月初めということであれば、混み合う可能性がある。 ・月初めは事務が大変かもしれないが、逆に予定が立てやすく決裁も取りやすいということもある。 ・予約の期限については、大ホールは特別に設けて、他の会議室などは空いていれば前日までといった形が良い。 ・大ホールも、空いていればステージだけ借りられたりすると、とても助かる。融通が利くと良い。 ・ステージだけの利用では、緞帳を下ろして会議を行ったりすることもある。 ・空いていれば使わせるような、劇場の臨機応変な対応が必要	○1年前の月初めから受付開始 ○予約期限は、当日までとする。	
<b>④使用料金</b>			
設定の考え方	・料金自体は他の町に比べて高いと感じる。高いから他の町に行くというのが現状。	※別途算定	
利用区分	・ホールや劇場の利用料金は、50年以上前に午前・午後・夜間の区分が生まれ、それを色々なところで真似し合っ、今まで続いているところが多い。砂川はそれを変えようと時間単位の料金にしたが、管理する側は最初は大変だったが、利用者には好評である。 ・時間単位での利用ができると、非常に助かる。少し空いている時間があれば、入れるというのが良い ・この設定が、町内の他の施設にも影響が出るので、行政側の負担も考えなければならない。 ・平成19年に利用料改定をした際、一斉に利用率が下がったことがあった。	○時間単位で設定する。	
減免の考え方	・減免の対象となる団体の区分けが、整理されると良い。 ・減免の割合を他の町村と合わせて、まともに払っている方たちとのバランスを見て、不公平にならないようになれば良い。 ・他の町と比較しながら、相対的に考えるのが良い。	※別途検討	
割引制度	・割引があったとしても、元々の料金が高ければ使わなくなってしまう。 ・安くて適正な料金であれば、割引制度は必要ない。 ・空きが減るように、こういう制度があると思うが、あまり必要ないのかもしれない。 ・割引制度を導入しているところは、あまり多くない。 ・美幌町のびほーるでは稼働率が85%となっており、安いから使われているとのこと。この辺りでは一番安いと思います。減免もあり、利用頻度を上げるための制度となっている。 ・湧別でも減免はありますが、教育に関するところ以外では、無料にはならない。無料にするのか少しでももらうのか、どう考えるのか。 ・割引制度については、基本料金が決まっていない状況での話し合いは難しい。 ・一つの方法としては、割引料金は内規として定め、例えば「施設長が認めたときは50%割引する」などといった形での運用も考えられる。 ・福祉センターにも当初はなかったが、内規はある。 ・町村合併後に利用料を見直した際、利用者が少なくなった。	※使用料金算定後、再協議	

⑤その他			
使用制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>• これまでに福祉センターでこの内容（使用制限の規定）で問題はあったのか。</li> <li>• これからできるホールについては、これまでの秤ではかかってしまうと新しいものができなくなってしまう。新しい考え方で10年、20年先の若者がどうやって使っていくかを考えなければならない。東京や札幌では良いものであれば搬入・仕込み・稽古含めて1週間から1か月以上も貸すこともある。そういったルールがなければ、遠軽では良いものが見られなくなってしまう。遠軽の文化芸術の世界を変えていくには、新しい考え方を入れていくことが必要である。</li> <li>• 若者を対象としたロックコンサートなどは、遠軽でも見たいと思います。そういったコンサートでは必ずグッズ販売があり、チケットよりもグッズの方で収益を上げている。それを許可しないと遠軽には来てくれなくなってしまう。10～20%の手数料を取るなど、方法はあると思う。</li> <li>• 例えばソフト事業としてコンクールを行う場合、何十人もリハーサルをするにあたって、それなりの日数を確保しなければならない。</li> <li>• 体育館であれば、3日という期限を設けながら、教育委員会が認めるときは制限をしていません。その制限をどうするか。</li> <li>• 使ってもらった方が良い。良いものが見られて、利用料ももらえるのであれば、問題ないのではないかと。</li> <li>• 営利目的での公演であれば規則にはめて良いが、学校のコンクールのための練習で1か月連続などというのはどうか。</li> <li>• 町民文化祭などでも、リハーサルから本番まで使います。その場合、1週間くらい前から、他の団体は使えなくなる。</li> <li>• 優先順位を考えなければなりません。</li> <li>• 急な選挙が入り、使えなくなったということが実際にあった。</li> <li>• 演劇やミュージカルは準備に時間がかかるが、ロックイベントなどは搬入からリハーサル、本番、撤去までを1日でやってしまう。</li> <li>• 3日以内という制限は設けるが、それ以上については、但し書きの部分で対応するということとする。</li> <li>• 遠軽は吹奏楽が盛んということで、他の町の学校が町民センターを使って練習したいと言ってくることも考えられ、その時に他の町の学校でも減免するのか、という問題がある。砂川ではそのような場合は無料で貸しており、新しく良いホールで練習したいということは、あり得ると思います。</li> <li>• 湧別で吹奏楽の練習をすることがあり、もちろん利用料を払っていますが、メンバーに町民がいるということで、良くしてくれています。そういったことを考えると、遠軽もそのようにできればよいと思う。</li> <li>• 大学のオーケストラなどの合宿利用が考えられます。そうなれば、宿泊が伴うため町が潤う。そこで、利用料はからないから、町民のための無料コンサートを開催してもらうなどの方法もある。そうすると他からも声が掛かって、街中に若者がウロウロするという面白い状況になり。</li> <li>• 最終的には、指定管理者が認めれば、ということになれば良い。</li> <li>• 全てを指定管理者に任せるとするのも難しい。基準などは指定管理者が作るのではなく、施設の管理者は町となるので、条例で指定管理者が決めるのは難しい部分がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料2のとおりとする。</li> <li>○専用使用の制限については、引き続き3日以内の期間とし、それ以上の期間はただし書きで対応</li> </ul>	
飲食	<ul style="list-style-type: none"> <li>• メインホールでの飲食は禁止とし、リハーサル室は禁止のところとそうでないところがある。</li> <li>• リハーサル室は飲食を可能とする。</li> <li>• 小ホールはビアパーティの利用もあり、可能とする。</li> <li>• 福祉センターではお年寄りが食べ物を持ち込んで大ホールで食べることがあるが、ハワイエで食べることができるのではないかと。</li> <li>• 煙が出るような食べ物は良くない。また、火気を使うものはダメではないかと。</li> <li>• プロの奏者の場合ステージに飲み物を持ち込むことはある。</li> <li>• クラシックでは管楽器のつば抜きやコントラバスの足で溝をつけたりということもあり矛盾する部分もある。</li> <li>• 最近ではクラシックコンサートの際に、ワインコーナーを設けるところが多い。客席には持ち込めないが、そういったことも内規で定める必要がある。</li> <li>• ボランティアの人がやることもあれば、主催者がやることもあります。美味しいワインを飲んでいい気分でコンサートを聴くことができます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○メインホールのみ飲食を禁止する。</li> </ul>	
喫煙	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 設計には喫煙スペースが入っていない。</li> <li>• 砂川には施設内に喫煙所があるが、2～3年のうちになくなると思います。</li> <li>• げんき21は外に設けています。</li> <li>• 昔のホールは後から設置しているところが多い。新しいホールはない方が良い。</li> <li>• 最近では外に灰皿があるところが多い。これからの時代は喫煙室は難しいのではないかと。</li> <li>• 1階の端の方に小さなスペースで、煙を吸う機械を設ければ良いのではないかと。完全に無視してしまうのも、どうか。町の税収にもなっており、小ホールでのパーティなどの際にも、喫煙場所があると良いと思う。</li> <li>• ドアを開けたときに臭いが出るし、灰皿を携帯すれば良いのではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設内は禁煙とする。</li> <li>○屋外に設置することを考慮する。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>館内は禁止するとして、屋外に設置するというのではどうか。</li> <li>外で吸うとなると、吸い殻を捨てる人がいるのではないか。</li> <li>たばこを吸う人にとっては、場所だけでもあると良いと思う。</li> </ul>		
ごみの取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常、自販機の近くには缶やペットボトルのゴミ箱がある。</li> <li>正しく捨ててくれれば良いが、マナーの問題だと思います。</li> <li>それ以外のゴミ箱については、最近どこでも見ないように思う。</li> <li>テロ対策で、最近あまり置かない。</li> <li>ゴミ箱があると、何でも捨ててしまうという問題があります。</li> <li>イベント時には主催者がゴミ袋を用意して、それに捨てるようにしている。持ち帰ることもある。</li> <li>福祉センターでもイベント時には、ゴミ袋持参で、集めたゴミはゴミステーションに出すといった形で運営している。</li> <li>ゴミステーションをつくるかどうか。福祉センターでは、各階に燃える・燃えない・その他のゴミ箱があり、そのゴミを清掃業者が回収して、ゴミステーションに出している。</li> <li>弁当などを発注する際は、ゴミは業者に持って帰ってもらうのが良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自販機横に缶やペットボトルのゴミ箱を設置する。</li> <li>○ゴミは持ち帰りを基本とする。</li> <li>○イベント時には、主催者がゴミ袋を用意するか、施設で販売するゴミ袋を購入し、回収したゴミ袋を各自がゴミステーションに運ぶ。</li> </ul>	
防災		※別途協議	

## 2 運営組織

検討区分	意見	決定事項	備考
サポーター制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>湧別ではホールの会ではなく、民間の鑑賞団体があり、情報の提供や、先行予約、チケットの割引を受けられる。年会費は500円。町内外問わず入会できることから、遠軽の人にも情報が入り、町外に住んでいても文化に触れることができる。音楽に関わりのある方は遠軽に早くホールができてほしいと切実に願っていましたが、音楽を鑑賞したい方は、20~30分車で行けば湧別で鑑賞できるため、そこまで不満は出なかったのだと思う。実際に、湧別でコンサートをやる時に一番多いのは遠軽のお客さんです。田舎の町であれば、広く門戸を開けなければならない。</li> <li>現実的に友の会は必要だと思います。チケットの販売やもぎり、炊き出しなどのお手伝いをしてもらうことがある。ただ、たくさん会員がいても、ホールとしては慣れた方をお願いしてしまい、なかなか声が掛からない方からの苦情もある。</li> <li>友の会の考え方の中に、ホールを運営するサポーターと、鑑賞にくる情報を提供する会員の2つがある。運営側の友の会はとても重要で、ミーハーな考え方でも良い。</li> <li>鑑賞側とは別に、ホールの運営側の友の会があると良い。</li> <li>誰が施設運営するかが決まらないとダメだと思います。それに付随してボランティアなどを募った方が良い。</li> <li>砂川では、友の会で年に4回情報誌を発行している。内容が濃くてなかなかの情報量であり、編集するスタッフにとって、結構な仕事量になっている。それを年会費を払っている会員さんに送付している。また、いつも手伝ってくれる方を対象に、バスに乗ってお弁当も出して、感謝の気持ちを込めた研修会なども実施しています。</li> <li>砂川の友の会の人数は150人くらいいる。有名な人が来ればボランティアも多くなる。運営について市から助成はなく、会員の会費で運営している。完全なボランティアであり、情熱がないとなかなかできない事です。</li> <li>例えば、その会でコンサートを主催することもあるのでしょうか。</li> <li>会員が増えてくれば、会員だけが鑑賞できるコンサートなどの開催も考えています。</li> <li>コンサートの際に、館内の入口にいるのは友の会の方なのでしょうか。</li> <li>そのような形が多いです。舞台製作ボランティアもあり、大きな劇団が来たときは友の会から何人出してほしいなどといった要望に応えます。また、舞台装置の操作で学生を使うこともある。</li> <li>今の段階で、団体を立ち上げるのは難しいと思います。</li> <li>斜里ではホールがオープンする前に立ち上げ、愛着をもってもらうようにした。</li> <li>斜里は教育委員会の直営。文化協会を立ち上げてその方々と連携をしている。</li> <li>文化連盟がそういった組織になるということは、できないか。せっかく団体があるのだから、主に使う側として関わると良いのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※別途協議</li> <li>事業部会の立ち上げを考慮</li> </ul>	
助成制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>湧別町芸術文化奨励事業補助について、大西委員から内容説明</li> <li>遠軽町においても、文化振興事業費交付基準を設けているが、文化ホールがないことなどから、近年では助成実績がない</li> </ul>	○他市町村の制度も考慮しながら提案	

## 3 ソフト事業提案 ※企画書の作成